

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 3月 15日

事業所名cocot

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動ごとに部屋を分け、こどもたちにもわかりやすいように取り組んでいる。	
	2	職員の配置数は適切である	○			基準人員に加え、必要な人員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			バリアフリーであるが、手すりはないため、今後必要な際には検討。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者からの意見を踏まえ、改善を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今年度よりHPIにてアップを予定している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者評価は実施しておらず、今後の検討としている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的なミーティングに踏まえ、研修等を実施。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者や本人に聞き取りを実施し、計画書に反映するよう取り組んでいる。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			統一した書式でのアセスメントを実施。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティング時に立案し、共有を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			前月や前年同月などの活動を見ながら固定化しないよう取り組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			活動ごとにこどものねらいを設定。取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○			スタッフの出勤時間が異なるため、支援前ではないが、打ち合わせ等実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○			支援終了時には、勤務時間が異なるため、翌日などので振り返りを実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			普段の記録に踏まえ、特記や個別対応などあった場合に記録し、共有を図っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連 絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡）を適切に行っている	○			保護者および学校の先生 と連絡や相談を行い、情 報共有を実施。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			○		現在、医療的ケアを必要とするお子さ んの受け入れをしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		○			就学後については、行っていないが、 卒園前等に、担当の計画相談担当者 や保護者を介して情報共有を実施。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している			○		卒業生がいらないため、現状行ってい ないが、必要な場合は情報提供を予 定
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	○			相談支援専門員を介し て、助言等をいただい ている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	○			近くの公園にて地域の子 たちと一緒にドッチボールなど して遊んだりしている。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加 している	○			自立支援協議会、こども部 会等に参画	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○			こまめに保護者と連絡を 行い、面談等を実施。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			契約時や必要時に説明を 実施。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			○		保護者会等は開催していないが、必 要に応じて保護者会を検討。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	○			事業所内に苦情受付箱を設 置。また、その他苦情、相談が あった場合には、その都度記録 に残し、速やかに対応するよう 努めている、	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	○			会報は発行していないが、 行事予定や活動の写真を SNSや保護者に配信してい る。	
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	○			視覚支援を行い、利用者 にわかりやすく伝わる手段に て実施。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			○		状況に応じて、今後開催を検討。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	○			火災訓練だけでなく、地震等 に備えた訓練、また非常食 体験等を実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	○			今年度は他事業所と合同で開 催。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	○			身体拘束が必要なお子さんに 関しては、同意書をいただい ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている		○			アセスメント時にアレルギーの有無等 伺うが、対象者はおらず未実施。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	○			ヒヤリハットがあった場合は記 録を行い、速やかにスタッフ間 で共有。	